

令和4年度 かながわ学びづくり推進地域研究委託事業 (真鶴町)



研究テーマ

伝え合い・学び合いを通して育む確かな学びと豊かな心

研究の方向性

当町では、これまでの「全国学力・学習状況調査」において、「他者とのコミュニケーションによる問題解決力」がストロングポイント、「書く、読むこと」がウィークポイントであることが明らかになっている。それらの結果をもとに、「思考力・判断力・表現力等」の育成を目的とした主体的・対話的で深い学びのある授業の創造をめざすと共に、豊かな学びの土台となる基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることをめざす。また、一小一中の環境を生かした「幼（保）小中の一貫した教育」を進め、共に学び共に育ち、生きる力を育む教育を推進する。

教育委員会の取組

全国学力・学習状況調査の結果を検証し、学校代表の教員とともに改善策を検討する「学力調査検証委員会」を開催する。その結果を保護者・教職員に報告する「真鶴町学力調査の結果分析と今後の方向性」の冊子を作成・配付する。

真鶴町幼小中一貫教育合同研究会

授業研究

- ・校内研究会の相互参観、研究協議への相互参加
- ・ICT活用、外国語教育、道徳教育の充実
- ・学習規律・規範等の共有
→授業に関する真鶴スタンダードの確立

幼(保)小中連携事業

- ・あいさつ運動 ・中学校学習活動発表会への参加
- ・部活動体験 ・交流授業
- ・ウィンタースクール
→目標の明確化・振り返りの充実

ふるさと教育の充実

- ・年間指導計画の検証と修正
- ・学習内容・実施形態等の確認・情報共有
- ・キャリア教育の取組
- ・家庭・地域への学習成果等の情報の発信

幼・小・中

ひなづる幼稚園

まなづる小学校

真鶴中学校

研究
テーマ

心と体を弾ませ、
主体的に取り組める環境づくり

粘り強く学ぶ子の育成
～入力方法の工夫から～

望ましい人間関係の構築と
学びに向かう力の育成
—UDを基盤とした授業づくり—

研究内容

- ・環境を通して総合的な指導に取り組む。
- ・12年間の子どもの育ちの連続性を大切に土台作りを行う。
- ・読み聞かせと読書習慣の定着を図る。

- ・友達と関わり合いながら粘り強く学ぶことができるように、「他者の考えを受け止める力」、「情報の取捨選択を行う力」、「自分の考えとつなげて表現する力」の育成をめざす。
- ・主体的な思いを児童にもたせ、問題解決の過程で必要な情報に出会わせることで、それをどう生かすかを教えたり、考えさせたりする授業を実践する。
- ・授業中に「書く活動」を取り入れる。
- ・読書タイムを活用して、「読書の日常化」を図る。

- ・「授業のユニバーサルデザイン」を基盤とした授業改善に取り組む。
- ・グループ活動等を授業に取り入れ、共に学び合える学習集団に高める。
- ・多様な人々との交流を通し、思いやりの心と豊かな人間関係を育む。
- ・段落の構成や、文の種類の違いなどを意識させ、表現力を高める。
- ・朝読書（MT）の時間を充実させる。

講師

横浜国立大学 白井達夫 先生

成果と課題

小学校では課題理解にどう取り組ませるかということに視点を当てた研究、中学校ではユニバーサルデザインに視点を当てた研究を行った。この研究内容は全国学力・学習状況調査で明らかになっている真鶴町の子どもたちのウィークポイントを改善することにつながる研究内容であった。今後も子どもの現状を把握したうえで、その改善を進めるような研究ができるよう支援していきたい。また、コロナ禍により停滞していた幼小中の連携の動きが、少しずつではあるが戻ってきたことも成果である。合同研究会では部会に分かれて幼小中の教員が部会ごとの課題について話し合ったり、各校の研究授業に参加する姿が見られたりするようになってきた。引き続き連携を促し、コロナ禍前の連携以上に進められるよう支援していきたい。